ふなばし
市議会だより

No. 212
年４回発行
平成25年(2013年)6月議会
発　行 船橋市議会
編　集 広報委員会
発行日 平成25年(2013年)6月28日
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
電話　047(436)3012

船橋を支える/撮影者：磯﨑 豊吉 様

船橋市子ども・子育て会議条例を含む13議案を可決

～ Twitter(ツイッター)及び LINE(ライン)を活用した市議会独自の情報発信の試験的運用を決定～

平成25年第2回定例会は、6月5日から6月13日までの9日間の会期で開かれ、議長・副議長の改選と常任委員会委員の所属変更等を行いました。

また、市長から9議案、議員から11議案が提出され、船橋市社会福祉審議会条例の一部を改正する条例など13議案を可決しました。

就任のあいさつ

第58代
議　長 長谷川(はせがわ) 大(まさる)

第43代
副議長 池沢(いけざわ) 敏夫(としお)

このたび、船橋市議会第58代議長および第43代副議長に就任をいたしました。

地方分権改革により地方自治体は、地域の実情に応じた行政を展開し、住民サービスの向上を図ることができるようになりました。

私ども市議会は、地方分権改革で移譲された権限の行使を含め、船橋市が適正に市政運営しているかを監視するとともに、政策提言など議会の権能を十二分に発揮し、市の発展、住民福祉の向上に引き続き努めてまいる所存であります。

つきましては、市民の皆様の引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

— おもな記事 —

議案の概要…… P2
議案質疑…… P2、3
各委員会の紹介…… P4、5
各委員会の報告…… P6
閉会中の委員会報告…… P7
議案の議決結果、陳情の議決結果…… P8
永年在職議員表彰

議案の概要

今定例会に市長及び議員が提出した議案の内容です。

平成25年度補正予算

○一般会計補正予算　【第1号】

補正額　２１０６万７千円の増額

内訳

民生費

・子ども・子育て支援新制度関係諸経費

・児童福祉専門分科会運営費

公債費

・市債償還金

○下水道事業特別会計補正予算【第2号】

補正額　41億６３６０万円の増額

内訳

・下水道債償還金

新しい条例

○子ども・子育て会議条例　【第5号】

子ども・子育て支援法の制定に伴い、子ども・子育て会議の設置に関し、所要の定めをするもの。

改正する条例

○動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例　【第3号】

動物の愛護及び管理に関する法律の一部改正に伴い、規定の整備を行うもの。

○社会福祉審議会条例の一部を改正する条例　【第4号】

社会福祉審議会に幼保連携型認定こども園に関する事項を調査審議させるため、所要の改正を行うもの。

○保育所条例の一部を改正する条例　【第6号】

習志野台第一保育園の建替え後の保育所の位置を定めるため、所要の改正を行うもの。

○専決処分の承認を求めることについて（都市計画税条例の一部を改正する条例）　【第7号】

地方税法の一部改正に伴い、規定の整備を行うもの。

人事に関するもの

○監査委員選任の同意を求めることについて　【第8号・第9号】

浅野（あさの）　正明（まさあき）

高木（たかぎ）　あきら

可決された意見書

◇教育予算拡充の意見書

◇義務教育費国庫負担制度堅持の意見書

◇公立高校授業料無償制の維持拡充等の意見書

議案質疑

今定例会に提出された議案について市長に対して質疑をするものです。

自由市政会　日色　健人

第4号

質問　社会福祉審議会児童福祉専門分科会に追加補充される委員は教育関係の委員ということでよろしいか。

答　子育て支援部長　審議事項の追加により、機能が大幅に増えるので、就学前の教育や保育について、また幼稚園、保育所事業について学識を有する方などを新たに任命し、体制を強化した上で審議をお願いしたいと考えている。

質問　現在の社会福祉審議会の委員数は31名となっているが、法律上は50名まで増員が可能である。当審議会の委員構成は、当市を取り巻く社会福祉の環境変化を反映しているか疑問である。見直しについてどう考えるか。

答　福祉サービス部長　現在の委員の任期が終了する時に検討したい。

第5号

質問　市民意見の反映について、偏りのないよう、無作為抽出の上集団で討議していただいて意見を平準化させるなどの工夫をする考えはないか。

答　子育て支援部長　提案の方法の実施については考えていないが、会議での意見集約については合意形成が図られるよう努めていく。

民主党　斉藤　誠

第4号

質問　保育所事業への株式会社参入を見据えて、保育所の認可を審議するにあたり、保育の優れた見識を有する委員を任命するとのことだが、良質かつ適切な保育をどのようにして担保するのか。

答　子育て支援部長　条例の基準を満たすことを前提とし、継続的にその運営が良質かつ適切であるか指導していく。

第5号

質問　子ども・子育て会議の専門委員の幅広い識見とは、放課後ルームの入所対象年齢の引き上げに伴う増設の認識や、待機児童発生前にルーム設置を推進させる感覚を持っていることも含むのか。

答　子育て支援部長　放課後ルームの需要に対する問題や危機管理意識も含む。

公明党　角田　秀穂

第5号

質問　児童虐待防止は自治体にとって、緊急の対応を要する極めて重い課題と

なっている。子ども・子育て支援事業計画には児童虐待防止についても盛り込まれるのか。

答 **子育て支援部長**　児童虐待の発生予防や早期の発見・対応は重要であり、関連事項として、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業を、地域子ども・子育て支援事業として盛り込む。

質問 子ども・子育て支援事業計画は当然のことながら、全ての子ども・子育てに対する行き届いた支援が講じられなければならないと考える。障害児のニーズの把握をどうするのか。

答 **子育て支援部長**　障害児支援のニーズ把握の必要性は感じているので、国の審議状況等を踏まえて検討する。

質問 子ども・子育て会議の委員にも、障害児の子育てや、児童虐待防止に関わっている方を加えるべきだと思うが、委員構成をどう考えているのか。

答 **子育て支援部長**　障害児に対する支援や児童虐待に関して見識のある方を、委員または専門委員としてお願いすることを検討していく。

凛（りん）

つまがり　俊明

第5号

質問 たくましさと思いやりのある子どもに育って欲しいと私は考えているが、市の子ども・子育てに関するビジョンはどのようなものか。また、子ども・子育て会議においてそのような基本理念についても検討を行っていくのか。

答 **健康福祉局長**　誰もが子どもを産み育てやすい環境を地域や社会が支えることにより、子育て世代にとって魅力あるまちを目指している。このような基本理念を踏まえて会議で審議してもらいたい。

質問 今後の産後ケアのあり方について、子ども・子育て会議の中でどのように議論していくのか。

答 **子育て支援部長**　現在は、こんにちは赤ちゃん事業を実施し、支援が必要な家庭に対しての産後ケアサービスの提供に努めている。今後は国において産後ケアセンター等をモデル事業として導入することから、その結果を踏まえて、会議の中で検討していきたい。

質問 放課後ルームの入所対象者が拡大するが、会議の中でどう扱うのか。

答 **子育て支援部長**　今後ニーズを調査し、需要量とサービス提供体制を踏まえて、会議の中で議論していきたい。

無所属

はまの　太郎

第4・5号

質問 子ども・子育て会議と社会福祉審議会は所掌事務が重複してしまうので、一つの会議体にすべきでは。

答 **子育て支援部長**　二つの会議は役割が異なっているので、分担して機能が発揮できるものと考える。

市民社会ネット

朝倉　幹晴・三宅　桂子

第3号

質問 昨年の動愛法（動物の愛護及び管理に関する法律）改正で、①遺棄防止②災害時対応③出生後56日未満の犬猫の販売・展示の禁止、等が明記された。市条例も改定すべきでは。

答 **保健所理事**　法律に基づいて指導できるので本市の条例に規定はしなかった。

質問 災害時の動物への対応は。

答 **保健所理事**　本市の地域防災計画では、被災によって放浪するペットの保護、収容を役割としており、今後マニュアル等の整備を図っていく。

第4号

質問 新制度にて、幼保連携型認定こども園の設備運営基準を条例で定めることとなるが、市独自の基準を設けるか。

答 **子育て支援部長**　具体的な基準は、国の省令の内容を注視したうえで、社会福祉審議会児童福祉専門分科会の意見を聞きながら今後検討していきたい。

第5号

質問 子ども・子育て会議の委員20人の内訳は。

答 **子育て支援部長**　今後検討するが、幼稚園・保育所の保護者、大学教授、及び市民委員等を想定している。

日本共産党

石川　敏宏

第5号

質問 消費税増税を前提とした「社会保障と税の一体改革関連法」の一つとして子ども・子育て支援法が昨年の8月に成立した。この法律の基本理念として「子ども・子育て支援は、父母その他保護者が子育てに第一義的に責任を有する」となっており、国や自治体が果たすべき役割に関する記述がない。これは、国や自治体が果たすべき子育てに対する責務の後退を意味しており、子どもの権利条約、児童福祉法等と矛盾する法律である。この法律に基づいて子ども・子育て会議が設置されるが、今後の船橋市の子ども・子育て支援施策も同じ考え方で進めていくのか。

答 **子育て支援部長**　法の第3条に市町村の責務が規定され、「子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うこと」、「子ども及び保護者に対し、新制度を円滑に利用するために必要な援助を行うこと」等が示されている。市としてもこの法の趣旨にのっとり、子ども・子育て支援施策を進めていく。

※本会議の会議記録は議会事務局及び図書館・公民館で、委員会記録は議会事務局でご覧になれます。なお、いずれも市議会のウェブサイトで公開しております。

各委員会の紹介

第２回定例会において、各常任委員会、議会運営委員会の委員等が選出されましたので、お知らせします。

凡　例

顔写真

氏　名（まるの中の数字は当選回数）

所属会派

総務委員会

市長公室、企画財政部、総務部、税務部、消防局、会計管理者、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、他の常任委員会の所管に属さない事項について審査・調査を行います。

◎委員長

渡辺　賢次　自由市政会②

佐々木克敏　自由市政会③

鈴木いくお　公明党④

渡辺ゆう子　日本共産党②

池沢　敏夫　市民社会ネット⑨

○副委員長

いそべ尚哉　みんなの党①

佐藤新三郎　自由市政会④

斎藤　忠　公明党⑥

中村　静雄　凛（りん）③

はまの太郎　無所属①

健康福祉委員会

健康福祉局、病院局の所管に属する事項について審査・調査を行います。

◎委員長

岩井　友子　日本共産党⑦

長谷川　大　自由市政会④

大矢　敏子　自由市政会③

佐藤　重雄　日本共産党⑧

中原しんすけ　みんなの党①

○副委員長

藤川　浩子　公明党②

鈴木　和美　自由市政会③

仲村　秀明　公明党①

谷口　昭夫　凛（りん）②

三宅　桂子　市民社会ネット①

市民環境経済委員会

市民生活部、環境部、経済部、農業委員会の所管に属する事項について審査・調査を行います。

◎委員長

石川　敏宏　日本共産党⑨

七戸　俊治　自由市政会⑤

松嵜　裕次　公明党④

小石　洋　凛（りん）⑥

浦田　秀夫　市民社会ネット⑥

○副委員長

松橋　浩嗣　公明党①

浅野　正明　自由市政会⑤

中沢　学　日本共産党②

やぶうち俊光　みんなの党①

島田たいぞう　無所属②

建設委員会

建設局の所管に属する事項について審査・調査を行います。

◎委員長
石崎　幸雄　公明党③

中村　実　自由市政会④

瀬山　孝一　自由市政会⑧

神田　廣栄　凛（りん）③

川井　洋基　みんなの党③

○副委員長
関根　和子　日本共産党⑧

田久保好晴　自由市政会⑥

橋本　和子　公明党②

大沢　凛　久（りん）⑧

野田　剛彦　民主党④

文教委員会

教育委員会の所管に属する事項について審査・調査を行います。

◎委員長
日色　健人　自由市政会②

川畑　賢一　自由市政会①

角田　秀穂　公明党④

金沢　和子　日本共産党⑤

斉藤　誠　民主党④

○副委員長
つまがり俊明　凛（りん）①

杉川　浩　自由市政会①

高木あきら　公明党④

朝倉　幹晴　市民社会ネット③

高橋　宏　無所属①

広報委員会

議会の広報広聴に関する事項について審査・調査を行います。

◎委員長
中村　実

○副委員長
やぶうち俊光

川畑　賢一
日色　健人
大矢　敏子
石崎　幸雄
松橋　浩嗣
角田　秀穂
中沢　学
石川　敏宏
つまがり俊明
神田　廣栄
三宅　桂子

議会運営委員会

本会議の運営を円滑、能率的に行うため、議事の順序や審議方法等について協議する機関です。また議会運営に関係する案件の審査を行います。

◎委員長
佐々木克敏

○副委員長
斎藤　忠

杉川　浩
渡辺　賢次
鈴木　和美
仲村　秀明
藤川　浩子
渡辺ゆう子
佐藤　重雄
つまがり俊明
神田　廣栄
中原しんすけ
浦田　秀夫

議会選出役職

千葉県競馬組合議会議員
瀬山　孝一

四市複合事務組合議会議員
大矢　敏子　鈴木いくお
岩井　友子　浦田　秀夫

監査委員
浅野　正明　高木あきら

農業委員
田久保好晴　角田　秀穂
金沢　和子　小石　洋

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員
池沢　敏夫

住居表示審議会
川畑　賢一　杉川　浩
仲村　秀明　中村　静雄
中原しんすけ　いそべ尚哉

民生委員推薦会
関根　和子　大沢　久

社会福祉審議会
谷口　昭夫

都市計画審議会
石崎　幸雄　佐藤　重雄
つまがり俊明　やぶうち俊光
三宅　桂子

青少年問題協議会
日色　健人　松嵜　裕次
朝倉　幹晴

消防委員会
橋本　和子　渡辺ゆう子
神田　廣栄　川井　洋基

各委員会の報告

議会から付託された議案・陳情等について、それぞれ担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。

予算特別委員会

議案

第1号は、「補正根拠である関連法及び条例は、待機児童対策への営利企業参入要件緩和、事業者と利用者の直接契約による認定こども園入所、財源が消費税等の重大な問題がある」との反対討論、「各会議体において、待機児童解消、本市の就学前児童を取り巻く環境の改善、放課後ルーム事業の進展等を求める」、「子ども・子育て支援は社会全体で行うとする理念の市民への浸透、会議体の委員選定では児童虐待、特別支援教育問題等の専門委員の選定を求める」との賛成討論があり、賛成多数で可決した。

第2号は、「今回の借りかえによる歳出の負担軽減を評価する」との賛成討論があり、全会一致で可決した。

総務委員会

議案

第7号は、条例改正による影響や、改正をしなければいけなかった時期等について質疑があり、討論に入ったところ、承認賛成の立場で「法令改正にあわせた必要な手続であり、時間的な余裕がなかったという専決にした理由も妥当と考える」との討論があった。採決の結果、全会一致で承認された。

文教委員会

陳情

第14号は、「財源を移譲し、地域が独自の教育予算を確保すべき」との不採択討論、「社会的・経済的価値を創造する教育に市の特徴を生かせるよう求める」、「教育は国レベルで財源確保しなければ成立しない」「ハード・ソフト整備のためにも、国の教育予算充実を」との採択討論があり、賛成多数で採択と決した。

市民環境経済委員会

陳情

第13号は、「交渉参加すべき」「農業は今のままではだめ」「党の見解と差がある」「近代化を進めるため」「人口減少時に必要」との反対討論、「アメリカのルールの押し付け」「国内の農業のあり方を先に考えるべき」との賛成討論があり、採決の結果、賛成少数で不採択と決した。

健康福祉委員会

議案

第3号は、「終生飼養など業者に適切に指導すること」条例に明記されなかった部分がある」「法の趣旨を生かした運用を要望する」との賛成討論があった。

第4号は、「教育と保育の時間を別々の価値とし、相対的に教育を保育より価値あるものとしている」との反対討論と、「認可について意見を述べられる態勢にすること」「会議体は市の諮問機関であり、議会としてチェックが重要」「現代社会に合致させる形へ改正が進んできている」との賛成討論があった。

第5号は、「新制度に基づき事業計画を策定することは保育制度の後退となる」との反対討論と、「計画策定、施策の実施状況など、継続的に点検・評価・見直しを行う役割が期待される」「保育関係者や専門家が委員となることが必要」との賛成討論があった。

第6号は、「定員の弾力運用は待機児童が多く、深刻な場合、やむを得ない」「保育士の確保に取り組むこと」との賛成討論があった。

第3号及び**第6号**は全会一致で可決した。**第4号**及び**第5号**は賛成多数で可決した。

議員のあり方検討特別委員会

同委員会（日色健人委員長・角田秀穂副委員長外12名）は、当市にとってふさわしい議会及び議員のあり方について、議員みずから調査研究を行い、市民の負託に応える必要があるとの理由から、平成23年第2回定例会で設置された。議員の定数、報酬、政務調査費の交付、議会事務局の組織等について調査研究するため、資料の収集・有識者による研修会・先進議会視察等の調査活動を2年にわたり行い、活動経過・概要、各会派の意見を併記した報告書を提出した。

議会運営委員会

船橋市議会政務調査費の交付に関する条例及び同規程に基づく事務に関し、地方自治法第100条第1項に基づく調査が、平成24年第4回定例会において、同委員会（長谷川大委員長・石崎幸雄副委員長外12名）に付託された。参考人を招致し意見聴取をするなど、本件に関する調査を5カ月にわたり行い、調査の経過、判明した事実、それに基づく会派の見解等を併記した報告書を提出した。

閉会中の委員会報告

議会の閉会中においても、所管に係る懸案事項などについて調査研究をします。前議会閉会後から今議会開会前までに開催された各委員会の活動を報告します。

議会運営委員会

船橋市議会政務調査費の交付に関する条例及び同規程に基づく事務に関し、調査報告書をまとめました。その他、議会改革に伴う議場改修や、第2回定例会の議事等について協議しました。

4月8日、4月24日、5月8日、5月21日、5月30日　会議

・船橋市議会政務調査費の交付に関する条例及び同規定に基づく事務に関する調査について
・議会運営委員の辞任及び選任について　・議会改革について　・無所属議員の一般質問の順序について
・人事議案の提出時期について
・議員のあり方検討特別委員会報告書について
・平成25年第2回定例会の議事について（会期、審議日程、発議案、質疑の順序　等）

市民環境経済委員会

船橋機械金属工業協同組合では、護岸の被災状況を視察したほか、意見交換を行いました。ベンチャープラザ船橋では、事業の内容について説明を受けました。

5月8日　視察
（船橋機械金属工業協同組合・ベンチャープラザ船橋）

・市内の工業の現状や取り組みなどについて

ベンチャープラザ船橋での視察風景

総務委員会

情報セキュリティ監査報告書の提出を受け、質疑を行いました。職員の定員管理の状況や防犯カメラの要綱の内容等に関し、調査研究しました。個人情報を含む記録の公開の形について協議しました。

4月30日、5月29日　会議

・情報セキュリティ監査の結果について（報告）
・職員の定員管理について
・船橋市防犯カメラ等の設置及び運用に関する要綱について　・記録の公開について

広報委員会

ケーブルテレビによる本会議放送の継続実施を決定しました。第4回小中学生議会見学会を夏休み期間中に開催することを決定しました。広報活動の充実を図るため、Twitter及びLINEの活用を決定しました。

4月9日、5月2日、5月22日、6月3日　会議

・市議会報について　・委員会のインターネット中継について　・JCNによる本会議放送について
・小中学生議会見学会について　・ソーシャルメディアを活用した広報の実施について

議員のあり方検討特別委員会

2年間にわたり「当市にとってふさわしい議会及び議員のあり方」について議論を重ねてきた本委員会の報告書の内容について協議しました。

4月9日、5月15日　会議

・非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する報告書について（案）
・議会事務局の組織に関する報告書について（案）
・報告書について（案）

健康福祉委員会

船橋市私立保育園協議会・船橋市私立幼稚園連合会・㈱JPホールディングス・㈱日本保育サービスより参考人を招致し、子ども・子育て新システムの国等の動向を踏まえて意見を伺い、所管事務調査を行いました。

3月29日　視察　（船橋市知的障害者支援施設北総育成園）　・障害福祉について
4月12日　視察　（柏市・豊四季台団地）　・地域包括ケアシステムの取り組みについて
4月12日、5月8日、5月27日、5月28日　会議

・保育について　・生活介護事業所設置及び運営事業者の選定にかかる募集要項について　・大人の風しんワクチン接種の費用助成について　・子ども・子育て新システムについて

柏市での視察風景

議案の議決結果

付託委員会	議案番号	件名	会派 自	公	共	凛	み	市	民	無所属 は	高	島	議決結果
予算特別	第1号	平成25年度船橋市一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第2号	平成25年度船橋市下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
総務	第7号	専決処分の承認を求めることについて（船橋市都市計画税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
健康福祉	第3号	船橋市動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第4号	船橋市社会福祉審議会条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第5号	船橋市子ども・子育て会議条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第6号	船橋市保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会付託省略	第8号	監査委員選任の同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	第9号	監査委員選任の同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

○ー賛成　×ー反対　自：自由市政会、公：公明党、共：日本共産党、凛：凛（りん）、み：みんなの党、市：市民社会ネット、民：民主党、は：はまの太郎、高：高橋宏、島：島田たいぞう

陳情の議決結果

付託委員会	受理番号	件名	議決結果
総務	陳情第19号	緊急事態基本法の早期制定の意見書提出に関する陳情（継続審査事件）	継続審査
市民環境経済	陳情第13号	TPP交渉参加についての意見書提出に関する陳情	不採択
文教	陳情第14号	教育予算拡充の意見書提出に関する陳情	採択
	陳情第15号	義務教育費国庫負担制度堅持の意見書提出に関する陳情	採択
	陳情第16号	公立高校授業料無償制の維持拡充等の意見書提出に関する陳情	採択

採択＝陳情を採択し議会として国等に意見書を提出しました。

※本会議の会議記録は議会事務局及び図書館・公民館で、委員会記録は議会事務局でご覧になれます。なお、いずれも市議会のウェブサイトで公開しております。

1面写真を募集します！

あなたが想う船橋らしい写真を募集します。

【規格】 カラープリント2Lサイズ、または、デジタル写真データ（JPEG形式で1MB以上）横撮りのみ。1人1回につき、2点まで。

【応募資格】 市内に在住・在勤・在学の方。

【応募方法】 写真のタイトル（10字以内）、撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記の上、郵送、または電子メールで応募ください。応募写真に個人を特定できるような人物（第三者）が写っている場合、応募者の責任でご本人（被写体）の承諾を得てください。

※詳しい応募上の注意、応募方法などは船橋市議会のウェブサイトに掲載しておりますので、参照の上、ご応募ください。詳細については左記の連絡先までお問い合わせください。

【作品の応募先・お問い合わせ先】
〒273－8501 船橋市湊町2－10－25
船橋市議会　広報委員会
電話　047（436）3012
FAX　047（436）3013
gikai-chosa@city.funabashi.chiba.jp

第4回小中学生議会見学会

～夏休みの自由研究
議員に直接聞いてみよう！
市議会のお仕事って？～

□日　時　8月21日㈬、22日㈭
各日午前10時から1時間半程度
□見学場所　市役所10階議場他
□対　象　小学3年生から中学3年生まで
※小学3・4年生については保護者同伴
□定　員　各日先着20名　参加費無料
□申込み　8月1日㈭午前10時から
電話のみにて受け付け

議会事務局庶務課　TEL 047（436）3012へ

永年在職議員表彰

先に開催された全国市議会議長会の定期総会で下記の方々が永年在職議員として表彰され、その伝達式が本会議場で行われました。（カッコ内は在職年数）

【前列】金沢和子（15年）、関根和子（30年）、瀬山孝一（30年）、佐藤重雄（30年）、大沢久（30年）
【後列】朝倉幹晴（10年）、神田廣栄（10年）、大矢敏子（10年）、鈴木和美（10年）、佐々木克敏（10年）、川井洋基（10年）

Twitter、LINEはじめました！

船橋市議会では、6月14日より一層の広報活動の充実を図るため、試験的に本会議、委員会、市議会だより、その他市議会に関する情報を発信しています。

Twitter（ツイッター）ご利用方法

以下のURLからアクセスするか、QRコードを読み取ることで、情報を閲覧できます。
URL：https://twitter.com/funabashi_gikai
QRコード

LINE（ライン）ご利用方法

LINEアプリで以下のIDを検索するか、QRコードを読み取り「友達登録」を行うと、情報が受け取れます。
LINE ID：＠funabashi_gikai
QRコード